

## 大井剛史さん、国際指揮者コンクールで第2位

10月5日(現地時間)、大井剛史さん(東水沼)が、イタリアで行われた第10回アントニオ・ベドロツティ国際指揮者コンクールで第2位になりました。

大井さんは芳賀中、宇都宮東高校を経て、東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業し、同大学大学院音楽研究科指揮専攻を修了しました。その後、国内外を問わず世界各国で活躍されています。



▲コンクールの様子

■大井剛史さんのコメント  
ほとんどの指揮者コンクールは、年齢制限が35歳です。34歳の今、ほぼ最後のチャンスで第2位をいただいたことを、大変嬉しく思っています。現在私はチェコ共和国の首都プラハで、ヨーロッパを代表するオーケストラの一つであるチェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修させていただいています。このチェコ・フィルは、海外での演奏活動も数多く行う世界的なオー

ケストラでありながらも、自国の音楽を何よりも大切にしています。また、地元プラハの人々は、そんなチェコ・フィルをとっても愛しているのです。私は今回のコンクールをきっかけに各地で幅広く活動したいと思っていますが、一方、チェコ・フィルのように、自分の故郷にしっかりと根が下ろせるようなことが何か出来るたらと強く思っています。

## 芳賀町総合情報館正式オープン

10月3日、図書館・博物館・文書館の3つの機能を併せ持つ芳賀町総合情報館(愛称「知恵の環館」)が、正式にオープンしました。



落成式には、芳賀郡市の長や建設に関わった機関・団体の関係者など約150人が訪れ、落成を祝いました。また開館を記念して、福田たねの生い立ちや青木繁との関係を中心に、2人に影響を与えた人物の作品を展示した「福田たね 青木繁のロマン」展が11月23日まで開催されています。

## 黒崎さんに法務大臣表彰

10月1日付けで、町人権擁護委員の黒崎幸恵さん(下高根沢)が、法務大臣から表彰されました。これは、永年にわたり人権擁護委員として、国民の人権擁護と人権思想の普及・高揚への多大な貢献をたたえて表彰されたものです。



▲黒崎幸恵さん

黒崎さんは、平成6年に法務大臣から人権擁護委員に委嘱され、月1回の定例会人権相談のほか町の各種人権擁護活動に活躍されています。

## 芳賀町文化協会20周年記念式典



10月19日、町民会館で芳賀町文化協会20周年記念式典が行われました。芳賀町文化協会は、文化的活動をしていく各種団体の相互理解などを目的に組織されています。式典後には、舞踊・吟詠・民謡・邦楽・剣詩舞など各種団体の発表が行われました。

## のぶ幼稚園でサツマイモ掘り



10月16日、のぶ幼稚園児がユートピア農園でサツマイモ掘りをしました。指導は、5月の苗植えに続いて町内の若い農業の担い手で構成される芳賀町青少年クラブ協議会が行いました。園児たちは、お兄さんたちに手伝ってもらいながら、たくさんのサツマイモを収穫しました。掘ったサツマイモは、焼きイモにしてみんなで食べるそうです。

## 芳賀中家庭教育学級 家庭料理研究家から料理を学ぶ



9月27日、芳賀中学校家庭教育学級(保護者対象)が料理教室「家庭で作る中華料理」を行いました。家庭料理研究家の渡辺仁子先生を迎え、あんかけビーフン・かにシウマイ・貝柱餃子・シソ餃子などの料理に挑戦しました。参加者からは「早速夕飯のメニューに取り入れたい」との声も聞かれました。

## 芳賀南小、芳賀北小で稲刈り



▲芳賀南小



▶芳賀北小

10月3日に芳賀南小学校、10月20日に芳賀北小学校で、5年生の児童が稲刈りを行いました。子どもたちは鎌を上手に使い、1束ずつ丁寧に刈り取っていました。収穫したお米は、後日給食に出されるそうです。

